令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　8　日　作成

事務事業名	環境保全振興事業	事務事業No.	732 - 11

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	農林振興課	農政係	主事	阿部　加菜	課長	古江　敬輔

施策体系				
総合計画	政　策	7	自然環境
	施　策	3	環境にやさしいまちづくり
	基本事業	2	3R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進
その他の計画	個別計画		なし

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市単独農業振興事業費補助金交付要綱				
事業開始年度	不明	事業終了年度	未定	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	なし

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	農業の生産活動に伴って毎年多量に発生する農業用使用済プラスチック等の適正処理を推進し、環境保全を図る。
対象（働きかける相手・もの）	嘉飯桂地域農業用使用済プラスチック等適正処理推進協議会
手段（方法・働きかけ（活動指標））	嘉飯桂地域農業用使用済プラスチック等適正処理推進協議会への補助金及び交付金の交付
意図（対象をどのようにしたいか（成果指標））	農業用使用済プラスチック等の適正処理を推進し、環境保全を図る

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
啓発活動	回	啓発パンフレットの配布回数	1	1	1
回収実施日数	日	農業用使用済プラスチック等の拠点回収を行った日数	11	6	6

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	農業用使用済プラスチック等の回収処理件数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		件	125	目標値	125	125	125
説明	適正処理を促し、環境保全を図るもの	方向性	達成目標年度	実　績	113	104	
		維持	毎年度				

指標	農業用使用済プラスチック等の処理量	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		kg	28,000	目標値	28,000	28,000	28,000
説明	適正処理を促し、環境保全を図るもの	方向性	達成目標年度	実　績	17,972	21,715	
		維持	毎年度				

指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	―

予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	大	2	農業振興事業費	中	2	環境保全振興事業費					他	3 事業

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	正職員	0.08	人	652	0.08	人	680		0.08	人	680
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）		652			680			―	680		
事業費	直接事業費（B）	433			433				433		
	総事業費（A＋B）	1,085			1,113				1,113		
直接事業費のうちの主な歳出内訳	負担金等	37			37				37		
	補助金	396			396				396		
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）	0			0				0		
	国・県支出金	0			0				0		
	市債	0			0				0		
	一般財源	1,085			1,113				1,113		
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	農業における環境保全は国の重要課題であり、広域での農業者が対象であるため妥当である。
効率性評価	高い	JAが協議会事務を担っており、処理費は市町、JA、受益者の負担で賄っているため、効率化を図る余地はない。 処分はJAが取りまとめた飯塚市、嘉麻市、桂川町分を同時に実施することで効率化が図れている。
有効性評価	高い	毎年パンフレットを作成、配布することで農業者への周知を図っており、事業の不継続は、農業用使用済プラスチック等の不法投棄に直結すると考え、今後も継続は必要である。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	JA広報誌により適正な処理の周知及び行政窓口のポスター掲示等啓発活動を行う。
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	平成29年度より廃棄物処理業者による処理品の中国輸出が出来ないこととなり、処理費用が増加しているため費用負担率の見直しを行う必要がある。 また、環境にやさしい廃棄されない素材、または自然環境で分解されるサスティナブルな素材への移行を実施する必要がある。
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

－

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　適正処理・リサイクルを支援することで、持続可能な農業と循環型社会の形成に貢献した

【課題】　平成29年度より廃棄物処理業者による処理品の中国輸出が出来ないこととなり、処理費用が増加し更なる費用負担率の見直しを行う必要に迫られている。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	事業の不継続は、農業用使用済プラスチック等の不法投棄に直結すると考えるため、引き続きプラスチックの適正処理の周知を行い、現状維持とする。
コスト投入の方向性	**【理由】**
現状維持	事業の不継続は、農業用使用済プラスチック等の不法投棄に直結すると考えるため、継続してプラスチックの処理費の一部補助を行う。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	－
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	物価高騰の影響により、処理費用についても高騰してきている状況であるが、協議会を構成しているJA管内自治体と協議し、事業費の見直しが必要。

2次評価 （最終評価）	**成果の方向性** 現状維持	本事業は環境保全と農業者の健全な育成を図ることを目的としているが、廃棄物は自己負担により処理すべきものである。補助金交付による成果（実態）を精査し、補助金の積算根拠が適正であるか検証する必要がある。
	コスト投入の方向性 縮小	現状として成果が確認できていないことから今後の方向性は一旦縮小と評価する。成果検証の結果、コストに見合った成果が得られる等、事業の妥当性、効率性、有効性が認められる場合は、定額補助ではなく事業費補助への見直しにより現状維持や拡充を否定するものではない。